

<学校名> 羽生市立羽生北小学校  
<所在地> 羽生市北2-1-1  
<電話> 048-561-0058  
<本事例の特徴>

本校は、6年生の総合的な学習の時間に「世界の12才は今」というテーマで課題を設定し、調べ学習を行っている。また、週に3回ALTが来校し、外国語活動や国際理解教育を進めている。

### <具体的な取組や成果>

#### ○6年生の総合的な学習の時間の「国際理解教育」

・「世界の12才は今」というテーマで世界の子供たちの様子を調べ、同じ地球で同時代を生きる子供たちの姿から、自分の生き方を見つめ直す学習を行っている。写真は本校のALTが母国のフィリピンの文化や食べ物などを紹介しているところである。



・子供達はフィリピンが日本と同じ島国であり、いくつもの言語が話されていることを知った。また、たくさんの日本のアニメが海外でも放映されており、人気があることに驚き、改めて日本のよさも知ることができた。

・本やインターネットで自分の課題を解決することで、国や地域によって学校の様子も様々で、学習する教科や時間、休み時間の過ごし方、学校にある施設や人気のスポーツやゲーム、放課後の過ごし方などを知ることができた。また、世界には戦争で学校に行けない子供や貧しくて働かざるをえない子供、飢えに苦しむ子供や病院に行けない子供がたくさんいることにも触れ、そのような現実を知り、自分たちにできることから始めたり、忘れずに心に留めておくことが大切であることを学んだ。

#### ○外国語活動の取組

・本校では週に3回ALTが来校し、1年生から外国語に触れる機会を設けている。系統表を作成し、ゲームやアクティビティを繰り返し行うことで外国語に親しんだり、外国語のおもしろさにも触れてきた。5年生から始まる外国語活動が抵抗なく、楽しんで進められるようにこれからも活動の内容を考えて行きたい。